

# ひまわり



医療・介護・福祉・行政の多職種が連携し合い、住民の方が住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるよう必要な体制づくりに取り組んでいます。

## 薩摩郡医師会会長ご挨拶



平成30年6月26日から薩摩郡医師会会長に就任いたしましたわかばクリニックの堀之内です。

平成25年度から取り組んでいる在宅医療推進地域支援事業により、行政や多職種の皆様に参加して頂いている各種会議、研修会の開催を初め、在宅医療連携シートの活用、医療・介護資源ガイドブックの作成、さつまネットの活用など少しずつですが、体制づくりができています。

今後も、在宅医療・介護連携の充実に向けて、体制作りに取り組んで参りますので、皆様方のご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

## 平成30年度第2回薩摩郡医師会 在宅医療推進作業部会(9/11)



第2回薩摩郡医師会在宅医療推進作業部会が薩摩郡医師会病院会議室で開催され委員26名にご出席頂きました。

薩摩郡歯科医師会の福岡先生より在宅歯科医療推進検討会のご報告を頂きました。歯科訪問診療依頼用の書式『お口のチェックシート2&お口いきいき診療連携システム1、2』の3枚の書式を2枚に纏め簡略化し、活用しやすいようにする方向で検討されているとお話でした。

協議は、全体討議の形で行い、医療連携班の課題の在宅医療連携シート活用推進では、市比野記念病院への記載者名簿の提出について要望がありましたので、今後お届けしたいと思います。また益崎先生より「自殺対策会議で在宅医療連携シートについて関心が高く、ぜひ独居高齢者には記載をして頂きたいと要望があった」とのご報告がありました。在宅医療連携シートとは別に、様式を簡略化した、緊急時医療情報提供書の作成について検討して行く事となりました。また、在宅医と後方支援病院医師および多職種との意見交換会については開催日とテーマについて協議し、11月20日に開催する事となりました。

医療・介護連携班の「入退院時支援ルールについて」は、川薩保健所から頂いたスケジュール表に基づき説明させて頂きました。活発な意見交換有難うございました。

## 平成30年度第1回川薩地区在宅医療推進リーダー会議(7/6)



川内看護専門学校会議室に於いて、平成30年度第1回川薩地区在宅医療推進リーダー会議が開催されました。本年度より新たにメンバーとして、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、地域リハビリテーション広域支援センター、川内ホームヘルパー協会、栄養士会、通所介護事業所連絡協議会、認知症グループホーム連絡協議会の代表の方々に加わって頂き、34名の委員構成となりました。

初めに、川内市医師会、薩摩郡医師会の両センターの活動および実績報告を行った後、川薩保健所より入退院調整ルールの作成に向けての取り組みについてご報告頂き、今後の会議でも支援して行く事を確認しました。

次に、会議開催前に行った各事業所への在宅医療推進にあたっての課題・困り事等・要望などに関する調査結果に基づき協議を行いました。歯科医師会から「急性期病院に入院している患者に訪問診療を行った際に、治療の途中で転院や退院された際の連絡が無い事があり困っている」、薬剤師会からは「1人薬剤師が多く在宅訪問やカンファレンスの参加が難しい」、訪問看護ステーション協議会からは、「退院支援に向けて入院中から介入する事でスムーズに在宅に移行できるような取り組みができないか」とのご意見がありました。また、認知症グループホーム連絡協議会からは、「利用者の望む医療、望まない医療に対する意思決定支援として事前指示書を作成している」などの情報提供がありました。センターより鹿児島県医師会作成のマイライフノートとさつま町作成のマイライフノートのご紹介をさせて頂きました。

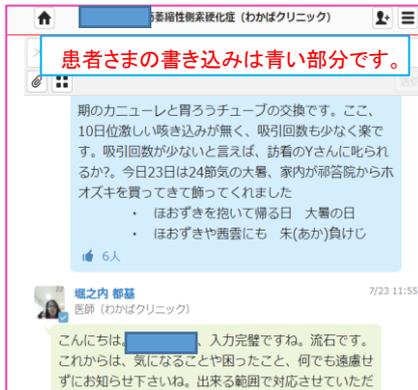
裏面もお読み下さい

## 平成30年度第2回さつまるネット研修会:フットケア第3弾(8/6)



フットケア熊本の竹永志保先生によるフットケア研修会第3弾を8月6日(月)に27名の参加で行いました。前回に引き続き、基本の爪切りについて学びました。今回は器具と、とても精巧に作られた指モデルを持参して頂き、清拭・爪と皮膚の境目の確認・ゴミだし(ゾンデ)・ニッパーを用いての爪切り・断面の整え・ふき取り確認の工程を参加者全員で実践しました。私も実践いたしましたが、最初はニッパーの持ち方が間違っており直接正しい持ち方を教えて頂きました。また皮膚を下げて行うこともポイントで、指を傷つけない安全な爪切りができることを学びました。シャボンラップは前回も研修しましたが、専用の石鹸液と少量の水で滑らかなシャボンを作る事が出来、後片付けも簡単で、寝たきりの方でも実践できそうでした。入院患者さま、施設入所患者さま、在宅療養患者さまあらゆる場面でぜひ実践していきたいですね。

## MCS[さつまるネット]の活用～「みやすく」とのコラボ第1号～



さつまる町在住のALS患者さまより「さつまるネットにぜひ参加したい」との申し出を頂き、主治医の許可の元患者側グループを作成致しました。7月10日の導入の際は、機器の不具合等もあって時間がかかりましたが、20日より使えるようになり、書込みを数回頂いております。季節の変わり目のわずかな変化を捉えた俳句や多職種の皆様へのいたわりの言葉など、読ませて頂くたびに暖かい気持ちになります。関係職種の励みにもなっているのではないのでしょうか?今回、掲載のご許可を頂きましたので紹介させて頂きました。

## ～川内市医師会在宅医療支援センター薩摩郡医師会在宅医療相談支援センターの協働～

### 鹿児島市内病院訪問 (8/28、8/30)



相良病院  
がん相談  
支援セン  
ターの方と



川内市医師会在宅医療支援センターと共に、鹿児島医療センター、今給黎総合病院、南風病院、相良病院、鹿児島大学病院、鹿児島市立病院、鹿児島市医師会病院の各地域医療連携室を訪問し、川薩地域で在宅医療が必要となった際、スムーズに連携できる様、両センターが窓口の一つとなっていることを説明致しました。

医療センターでは、入院患者の居住地が川薩地区の方は、5%ほどおられる事や最近、甕島の方で通院困難や経済的負担により治療を断念された方がおられたなどの情報提供がありました。鹿児島市医師会病院では、「鹿児島市内は在宅医がふえてきている。後方支援病院としてクリニック患者の急変時には100%入院受け入れができるよう、医療連携・相談室が市内600人ほどの在宅患者の聞き取りを行い、カルテへの記載を行っている。急性期病院が増えてきている中で、医師会病院としての役割を検討している」とのお話がありました。2020年に新病院となる今給黎総合病院と相良病院の情報も頂き有意義な訪問となりました。

### 施設・事業所における体制整備について (9/3)



さつまる園の柿添施設長のご尽力により、鹿児島県老人福祉施設協議会の吉満さんと白寿園の堂脇さんにおいて頂き、薩摩郡医師会会議室に於いて「介護職員等によるたんの吸引等実施のための研修(不特定多数の者対象)事業指導者講習」受講後の今後の活動についてお話頂きました。薩摩郡医師会病院久保田看護部長、松下外来師長にも参加して頂きました。

#### 《今後の予定》

- 9/21(金) : さつまるネット研修会  
「超高齢社会における栄養管理について考える」  
(マモリエ地域交流室)
- 10/31(水) : さつまるネット研修会: 薬剤師会担当  
(マモリエ地域交流室)
- 11/ 7(水) : 川薩地区在宅医療推進連絡協議会  
(川内看護専門学校)
- 11/14(水) : 薩摩郡医師会在宅医療推進事業運営委員会  
(薩摩郡医師会会議室)
- 11/20(火) : 在宅医と後方支援病院医師と多職種の意見交換会  
(薩摩郡医師会病院)